

くつろぎタイム

妻と夕食のメニューを考えたり、 家族と一緒に 過ごすひとときが ほっとひと息つける時間です。

松本事務機株式会社
代表取締役社長
仙台商工会議所 1号議員

まつもと しんいち
松本 信一 氏

昭和40年1月15日生まれ
仙台市出身
血液型A型



仙台第三高等学校在学中は、ラグビー部のキャプテンとして活躍。高校卒業後は専修大学経営学部に進学し、在学中から輸入外車販売の仕事を経験。アルバイトから部長職までのほりつめた。バブルの終焉を予期するようになり、ヤノン販売(株)に転職。銀座担当になり、コピー機の飛び込みセールスで手腕を発揮した。平成3年、松本事務機に入社。平成18年、社長に就任した。32年間、営業畑一筋に歩んできた松本さんが大切にしているのが「自利利他」の精神。「相手に喜んでもらえることが、私自身の喜び。商売に限らず、この精神が私の生き方そのものです」と語る。

趣味をたくさん お持ちだそうですね。

まずハーレーや車などの乗り物、それとルアーフィッシングの一種であるジギングで大物釣りに挑戦するのも好きです。それから、妻がホームパーティー好きでして、2週間に1度くらいの頻度で開いているんですよ。メンバーは仙台青年会議所(以下、JC)やロータリークラブで出会った仲間たち、末娘の同級生のご家族を呼んだりもしています。震災で家を建て替えなければならなくなったので、そのタイミングでリビングを広くしたりベランダをウッドデッキにしたりして、ホームパーティーができるようにしたのです。毎回20人近くが集まっています。私はみんなでワイワイと楽しむことも結構よくあるんですよ。

「くつろぎタイム」の意味は「ゆるぎない」とは、ゆるぎのない時間ですか。

日々の癒しは、何と言っても孫のような末娘と戯れることですね。それと、こうして改めて「自分にとっての『くつろぎタイム』とはどんな時間だろうか」と考えてみると、毎日4時ごろにかかってくる電話で、妻と夕食の献立について話す時間かもしれない。妻とはゴルフも一緒に行きませんが、食べ物やお酒の好みも同じなので、家族と一緒にいる時が私にとっての「癒し」の時間です。そんなひととき、ふっと心が休まります。夕食の献立は、「今日はこのお酒を飲みたいから」と、お酒から先に決めることも結構よくあるんですよ。

ゴルフもお好きなんですかね。

大好きなのですが、スポーツとして結構本気でやりますので、帰宅後もスコアカードを眺めながら「あのアプローチが良くなかった…」なんてウジウジと反省が止まらないものですから、あまりリフレッシュにはなっていないのかもしれない。それで妻に「じゃあ、やめれば？」なんて言われると、また悔しくなって練習場に出かけて行くこともあるんですよ(笑)。

妻も平日は会社と一緒に仕事をしています。土・日は少しでも体を休めてほしいので、週末の夕食は外食することが多いです。妻は、味わった料理を家で再現したりするのも楽しいみたいです。家で楽しいと言えは、私は掃除が大好きなんです。今朝も掃除の音で子どもたちを起こしてうるさがられました。親に似ず、5人の子どもたちは皆、掃除が苦手のようです(笑)。

そんな親の背中を見ていれば、 自然と掃除好きになるのでは??

どうでしょうか。ただ、先日、東京の大学を卒業した次男が仙台に帰省してきた時に、「あのころ親父の言っていたことが、今になって分かった」なんて言っていたんですよ。私がJCで忙しく活動していたころ、休日も子どもたちと一緒に過ごせないことが多かったんです。当時、長男は卓球、次男は野球をやっていたのですが、私は忙しくて試合の応援などにも行ってあげられませんでした。寂しい思いをさせていたのではないかと思っていたので、その言葉を聞いた時は嬉しくて涙が出ましたね。

これまで地域での活動にも力を 入れてこられたと伺いました。

JC時代には「地域愛」をテーマに活動していました。20歳の時に友だち

とふざけて人生計画書というのを書いたことがあったのですが、その中に「将来は仙台の青年会議所で仙台七夕花火祭の実行委員長をやる」と書いていたんです。ですから、副理事長を務めた後、JC卒業を前に実行委員長をやらせてもらいました。それまでなかなか取り入れられなかった有料観覧席を設け、翌年以降の財源確保に寄与できたと思います。JC卒業後はSENDAI光のページェントの実行委員長を任せてもらいました。震災の津波被害を受けたイルミネーションの代わりにと、全国のイルミネーションイベントを行っているところからさまざまな色の電球を寄せていただいた翌年です。点灯式の時にも震度5の地震が発生したりして、最後まで慌ただしかった記憶があります。

また、市内の各学校に「おやじの会」というのを立ち上げたりもしました。これは、母親が中心のPTAとは別に、親父たちも地域に目を配ろうという会で、近所の子どもがちょっと悪さをしていたら軽く声をかけてやるとか、そうやって子ども達を見守っていかうというものです。

思い起こせば30歳からの20年間は、それなりに大変な思いもしましたが、地域活動を通していろいろなことを経験できて本当に感謝しています。

お仕事の近況について お聞かせください。

弊社は現在33期目になり、地域の皆



昨年の夏、目に入れても痛くない末娘と、ウッドデッキに置いたビニールプールで遊ぶひとときを奥さまが捉えた1枚。

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。
大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。
私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)